



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：クルド自治政府と外国企業が締結した原油関連契約の無効化

(11月24日付AFP他)

1. シャハリスターニ石油相の発言等

- (1) 石油省職員によれば、シャハリスターニ石油相は、クルド自治政府が外国企業と結んだ原油関連契約を全て無効であると宣言し、それらの契約は認証されないと述べた。又、同石油相は、石油省が唯一の正統な機関であり、同省のアドバイスを受けることなく契約を結んだ企業は、以後、ブラック・リストに掲載され、取引が出来なくなると警告した。
- (2) クルド自治政府は、本年8月に自らの石油ガス法を制定して以来、20の外国企業と原油の採掘・輸出に関する15の契約を結んでいる。シャハリスターニ石油相によれば、イラクとトルコ、イラン及びシリアとの間には、クルド自治政府が独自に原油を輸出することを認めないとの合意がある。
- (3) 又、同石油相は、クルド自治政府こそが、(連邦)石油ガス法の制定を阻害していると述べた。

2. クルド自治政府側の反論

アブダッラー・クルド自治政府報道官の発言

- (1) シャハリスターニ石油相の発言は、自らの権限を越えている。もし、クルド自治政府が結んだ契約が非合法のものであると思うならば、連邦高等裁判所の判断を仰ぐべきであり、これらの契約を批判する暇があるならば、石油省の腐敗や石油の密輸問題を調べるべきである。
- (2) 我々は、クルド自治政府の石油ガス法を制定するまで、連邦の制定を8カ月も待ったが、意図的且つ不必要に審議を引き延ばしているとの印象をもった。クルド地方はイラクで最も安全で投資環境も整っているなかで、手をこまねいているわけにはいかず、自らの法律を制定した。これは、イラク憲法に合致した行動である。